



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 森田 徹

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,040	3.1	608	22.5	728	41.4	413	37.5
29年3月期第3四半期	30,099	1.9	496	30.8	515	29.7	660	9.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 539百万円 (21.1%) 29年3月期第3四半期 683百万円 (32.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	18.30	
29年3月期第3四半期	29.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	32,018	15,071	45.8	650.13
29年3月期	32,471	14,683	44.4	638.25

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,677百万円 29年3月期 14,414百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,584	0.4	651	57.9	774	78.2	377	11.5	16.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	22,610,359 株	29年3月期	22,610,359 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	33,525 株	29年3月期	26,471 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	22,580,865 株	29年3月期3Q	22,588,486 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、先行きの不透明感が否めない状況が続いております。

外食産業を取り巻く環境は、労働力不足による人件費高騰や原材料価格の高止まり、業種・業態の垣根を超えた顧客獲得に向けた企業間競争の激化など、引き続き厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社では、前連結会計年度において設立から50年となり、新たな「新3ヶ年中期経営計画」のもと、当連結会計年度は成長ステージの年度として、「主力事業であるレストラン事業の収益力の強化」「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高310億40百万円（前年同期比9億40百万円増）、営業利益6億8百万円（前年同期は営業利益4億96百万円）、経常利益7億28百万円（前年同期は経常利益5億15百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億13百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益6億60百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## (レストラン事業)

既存店の業績回復を柱に、業績不振店舗の改装・業態変更を推進するとともに、(株)銀座田中屋を第1四半期連結会計期間に子会社化したこと及び新規出店により店舗数は8店舗増加（前年同期2店舗）し、また、退店10店舗（前年同期14店舗）を行ったことにより、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は40都道府県に408店舗となりました。改装は21店舗実施し、このうち8店舗の業態変更を行いました。既存店舗の売上は順調に推移し増収となりましたが、コストコントロールの効果が及ばず減益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は215億75百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益7億71百万円（前年同期は9億9百万円の利益）となりました。

## (機内食事業)

(株)エイエイエスケータリングにおいては、関西国際空港における欧州やアジア便等でインバウンドの搭乗客が増加するなど好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は37億64百万円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益20百万円（前年同期は1億88百万円の損失）となりました。

## (業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒケータリングにおいては、季節品を含む冷凍食品の製造受注が増加するとともにコストコントロールの効果が及び増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は24億53百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益1億23百万円（前年同期は28百万円の利益）となりました。

## (不動産賃貸事業)

大阪木津市場(株)においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの若干の減収となりましたが、コストコントロールの効果が及び増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は4億94百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益2億34百万円（前年同期は2億24百万円の利益）となりました。

## (運輸事業)

水間鉄道(株)においては、鉄道及びバス旅客数はほぼ前年同期並みに推移し増収となりました。またコストコントロールが効果を及ぼし増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は3億39百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント損失14百万円（前年同期は52百万円の損失）となりました。

## (その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加し増収となり、またコストコントロールの効果も及び増益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は販売数量の増加により増収になり、原材料は高騰しているもののコストコントロールの効果が及び増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は24億12百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益19百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億53百万円減少して320億18百万円となりました。これは主に現金及び預金16億22百万円の減少及び売掛金9億7百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8億41百万円減少して169億46百万円となりました。これは主に買掛金6億46百万円の増加及び借入金13億53百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億87百万円増加して150億71百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億13百万円の計上及び配当金の支払い3億15百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.4%から45.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,358,134	4,735,378
預け金	890,335	973,269
売掛金	1,222,036	2,129,182
商品及び製品	323,794	321,318
原材料及び貯蔵品	214,107	305,052
短期貸付金	6,434	6,532
繰延税金資産	57,863	67,085
その他	661,339	621,004
貸倒引当金	△3,991	△3,441
流動資産合計	9,730,054	9,155,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,278,480	25,578,206
減価償却累計額	△18,549,567	△18,955,000
建物及び構築物(純額)	6,728,913	6,623,206
機械装置及び運搬具	2,579,699	2,620,310
減価償却累計額	△2,080,281	△2,177,379
機械装置及び運搬具(純額)	499,417	442,930
工具、器具及び備品	1,645,100	1,781,506
減価償却累計額	△1,322,062	△1,407,403
工具、器具及び備品(純額)	323,037	374,103
土地	7,759,381	7,726,679
建設仮勘定	4,928	17,198
有形固定資産合計	15,315,677	15,184,118
無形固定資産		
のれん	—	158,143
その他	50,352	44,198
無形固定資産合計	50,352	202,342
投資その他の資産		
投資有価証券	1,142,207	1,289,104
長期貸付金	80,714	70,003
差入保証金	6,033,044	6,001,180
その他	137,575	134,565
貸倒引当金	△18,532	△18,652
投資その他の資産合計	7,375,010	7,476,200
固定資産合計	22,741,040	22,862,661
資産合計	32,471,094	32,018,044

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,168,343	1,814,480
短期借入金	200,000	890,000
1年内償還予定の社債	370,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	2,817,452	2,262,231
未払金	335,905	287,304
未払費用	1,776,974	1,820,810
リース債務	21,725	31,670
未払法人税等	239,557	150,038
未払消費税等	163,881	211,884
賞与引当金	126,158	73,728
資産除去債務	19,531	35,250
その他	176,189	239,449
流動負債合計	7,415,718	8,186,847
固定負債		
社債	1,290,000	1,105,000
長期借入金	5,681,434	4,193,328
長期未払金	30,231	29,782
リース債務	57,933	77,470
繰延税金負債	1,461,916	1,522,060
資産除去債務	1,119,587	1,111,722
転貸損失引当金	18,750	16,500
退職給付に係る負債	135,289	130,089
その他	576,293	573,351
固定負債合計	10,371,436	8,759,303
負債合計	17,787,154	16,946,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,774,226	6,838,733
利益剰余金	1,532,974	1,630,034
自己株式	△24,313	△32,199
株主資本合計	14,121,124	14,274,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316,927	420,593
退職給付に係る調整累計額	△23,800	△17,563
その他の包括利益累計額合計	293,126	403,029
非支配株主持分	269,689	394,059
純資産合計	14,683,939	15,071,893
負債純資産合計	32,471,094	32,018,044

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,099,891	31,040,733
売上原価	18,603,984	19,138,120
売上総利益	11,495,906	11,902,613
販売費及び一般管理費	10,999,280	11,294,012
営業利益	496,625	608,600
営業外収益		
受取利息	4,024	3,344
受取配当金	15,817	17,858
賃貸料収入	74,045	76,391
投資有価証券売却益	—	72,910
その他	48,014	60,567
営業外収益合計	141,902	231,071
営業外費用		
支払利息	76,207	57,310
社債発行費	8,661	—
賃貸費用	34,873	34,349
その他	3,443	19,560
営業外費用合計	123,186	111,220
経常利益	515,341	728,451
特別利益		
固定資産売却益	456,545	—
受取補償金	29,872	5,000
特別利益合計	486,417	5,000
特別損失		
固定資産除却損	28,098	32,133
固定資産売却損	—	658
減損損失	97,767	117,324
退店違約金	12,316	19,165
その他	—	14,623
特別損失合計	138,183	183,904
税金等調整前四半期純利益	863,576	549,547
法人税、住民税及び事業税	206,470	120,729
法人税等合計	206,470	120,729
四半期純利益	657,106	428,817
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,622	15,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	660,728	413,235

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	657,106	428,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,995	103,666
退職給付に係る調整額	6,273	6,829
その他の包括利益合計	26,269	110,496
四半期包括利益	683,375	539,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686,421	523,138
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,045	16,175

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	21,270,335	3,454,877	2,209,758	495,300	337,196	27,767,468	2,332,423	30,099,891	—	30,099,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8,809	301,336	—	47,083	357,230	689,660	1,046,891	△1,046,891	—
計	21,270,335	3,463,686	2,511,095	495,300	384,280	28,124,698	3,022,084	31,146,782	△1,046,891	30,099,891
セグメント利益又は 損失(△)	909,023	△188,090	28,927	224,868	△52,616	922,112	△6,091	916,021	△419,395	496,625

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△419,395千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	21,575,651	3,764,153	2,453,625	494,781	339,730	28,627,942	2,412,791	31,040,733	—	31,040,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16,452	291,680	—	44,272	352,405	779,028	1,131,433	△1,131,433	—
計	21,575,651	3,780,605	2,745,305	494,781	384,002	28,980,347	3,191,819	32,172,167	△1,131,433	31,040,733
セグメント利益又は 損失(△)	771,309	20,592	123,443	234,270	△14,687	1,134,927	19,440	1,154,368	△545,767	608,600

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業及びマレーシアにおける食品製造事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△545,767千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 第1四半期連結会計期間より㈱銀座田中屋を連結子会社化しており、レストラン事業に区分されております。また、第2四半期連結会計期間より新たに設立したGK ASIA SDN. BHD. を連結子会社として「その他」の区分に含めております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。